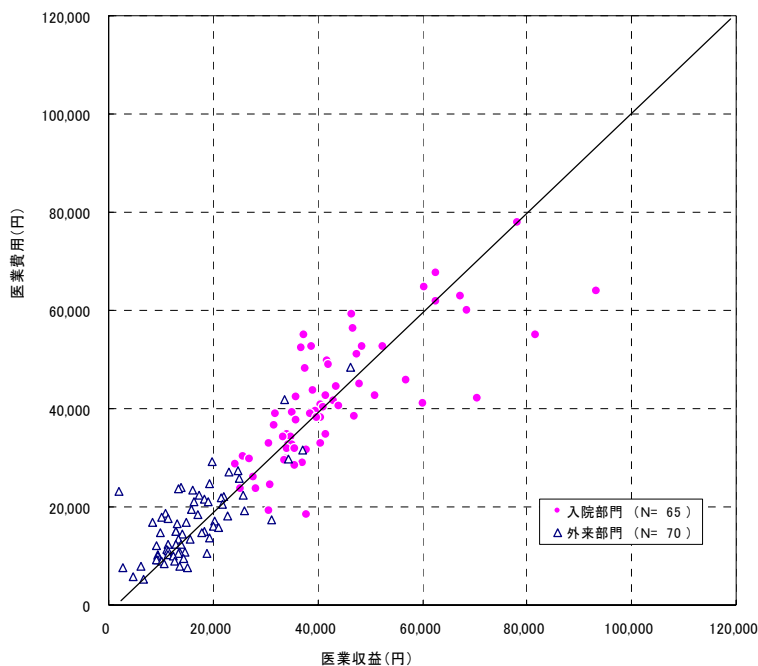


(e) 患者1人1日あたり医業収益・医業費用分布（散布図）

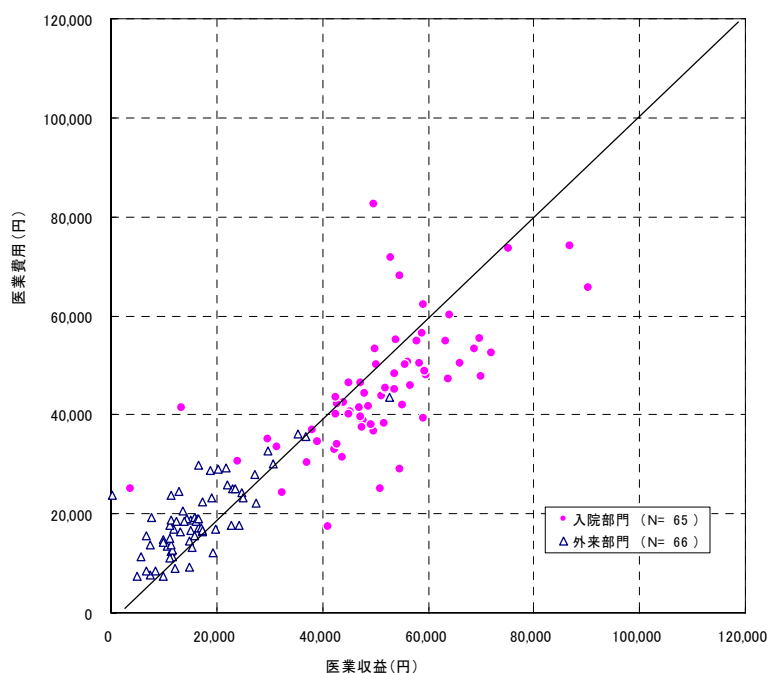
主な診療科の患者1人1日あたり医業収益・医業費用の分布は以下のとおりである。

- ・内科については、入院・外来とも45度線（収益・費用の一致点）の下方（収益が費用を上回る）の病院数、上方（費用が収益を上回る）の病院数に大きな違いはなかった。一方、外科については、入院部門では収益が費用を上回る病院が多く、外来部門では費用が収益を上回る病院の方が多かった。

図表 3-1-15 内科における患者1人1日あたり医業収益／医業費用分布

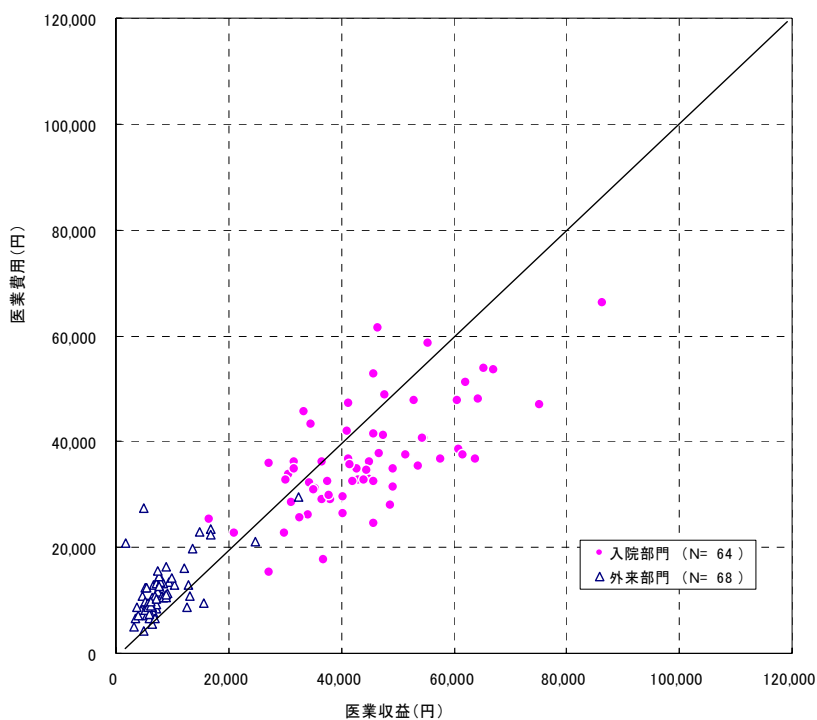


図表 3-1-16 外科における患者1人1日あたり医業収益／医業費用分布

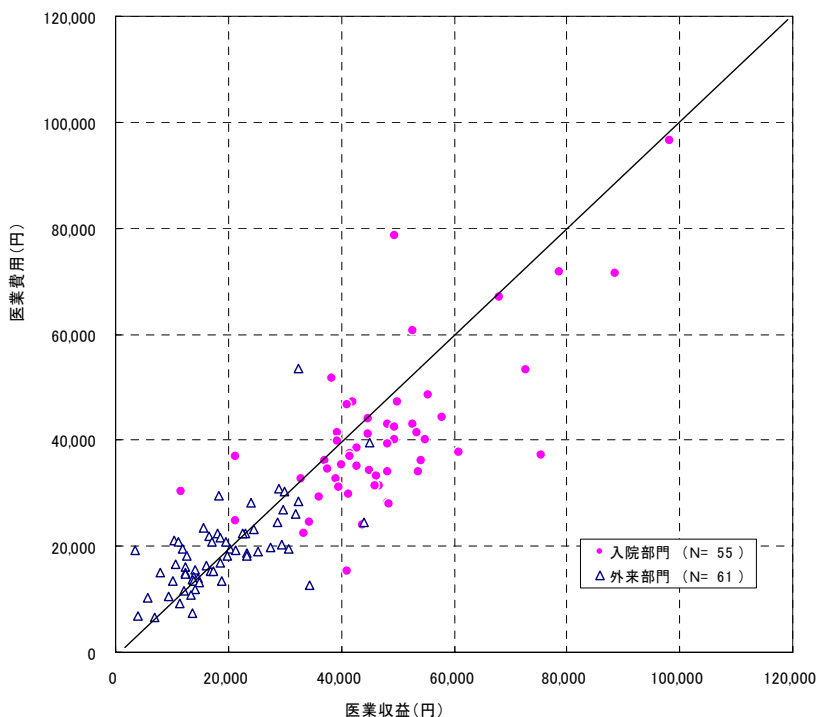


- 整形外科の入院部門は収益が費用を上回る病院の数が多く、外来部門のほとんどは費用が収益を上回っていた。泌尿器科については、外来部門では両者の数に大きな差は無いが、入院部門では収益が費用を上回る病院が多かった。

図表 3-1-17 整形外科における患者1人1日あたり医業収益／医業費用分布



図表 3-1-18 泌尿器科における患者1人1日あたり医業収益／医業費用分布



2. 特殊原価調査

本調査研究では「手術」「検査」「画像診断」についての等価係数を算定しているが、平成19年度はこのうち等価係数の存在する割合の低い「手術」に関する調査を実施した。

(1) 調査対象病院

一般原価調査対象病院から、手術の実施パターン数が多いと見込まれる13病院に調査依頼を行い、このうち応諾を受けた6病院に対して調査票を発送した。最終的にデータ提供を受けた5病院は以下のとおりである。

図表 3-2-1 平成19年度特殊原価調査 調査対象病院

	A病院	B病院	C病院	D病院	E病院
病床規模	500床以上	500床以上	20～199床	200～499床	500床以上
開設主体	その他※	その他※	医療法人	医療法人	その他※

※「その他」とは、図表 3-1-2 における「上記を除く開設区分」（「公的」（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）、「社会保険関連法人」（全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）、「その他」（公益法人、社会福祉法人、医療生協など）である。

なお平成19年度は、平成18年度までの「特殊原価調査」実施病院と平成19年度の上記5病院のデータをあわせて標準的等価係数を算定した。最終的に平成19年度の標準的等価係数算定のもととなった「特殊原価調査」の実施時期と病院数は以下のとおりである。

図表 3-2-2 平成19年度標準的等価係数作成のためのデータ提供病院

年度 種類	平成16年度	平成17年度	平成19年度	合計
手術	12病院	1病院	5病院	18病院
検査	10病院	1病院	—	11病院
画像診断	10病院	1病院	—	11病院

(2) 調査実施状況

平成19年度の「特殊原価調査」の調査対象期間は、「平成19年4月診療月分から平成19年10月診療月分の間で、10月分から遡ってデータ提供可能な期間」とし、平成19年11月に調査票を発送した。上記5病院からの回答状況は以下のとおりである。

図表 3-2-3 平成19年度調査対象病院における回答状況

	A病院	B病院	C病院	D病院	E病院
提出データ対象期間	H19/10	H19/10	H19/4 ～H19/10	H19/4 ～H19/10	H19/4 ～H19/10
手術件数	397件	374件	334件	2,752件	2,988件
Kコード種類数	122種類	137種類	34種類	293種類	334種類